

&lt;報道関係者各位&gt;



わたし、福井に  
帰ってきました!!

# えちてつ物語

わたし、故郷に帰ってきました。

**主演:横澤夏子&児玉宜久監督**

## ロケ地福井県へ弾丸キャンペーン慣行 福井県知事を表敬訪問!

**第31回東京国際映画祭 特別招待作品として上映が決定**

**「お笑いレッドカーペットじゃなく、本当のレッドカーペットを歩きます！」**

平素よりお世話になっております。

福井県の「えちぜん鉄道」を舞台に、新人アテンダントの山咲いづみ（横澤夏子）がふれあいを通して絆を取り戻す、感動の再生物語『えちてつ物語～わたし、故郷に帰ってきました。～』の公開まで2か月となりました。

主演の横澤夏子と児玉宜久監督が本作のロケ地でもある福井県に10か月ぶりに凱旋。えちぜん鉄道本社での取材後に福井県庁を訪れ、西川知事に表敬訪問。10月25日(木)より開催する第31回東京国際映画祭 特別招待作品として出品が決まり、全国公開に先駆けて上映が決まったことを報告。また夕方から開催されたキックオフイベントに登壇し舞台挨拶を行う予定です。クランクアップ後、福井で取材を受けるのがこれが初めてとなり、自身が初主演となった作品を精力的にPR。以下にその様子をお送りさせていただきます。ぜひご紹介いただきますよう、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

### ■西川知事表敬訪問

【日程】9月21日(金) 【場所】福井県庁 【参加者】横澤夏子、児玉宜久監督 / 西川一誠(にしかわいっせい) 知事



福井県庁に到着した映画『えちてつ物語』ご一行。主演の横澤夏子、児玉宜久監督、河合広栄プロデューサーとギャガ株式会社の辻勝行氏がマスコミが待機する知事室に案内され、始め横澤はちょっと緊張した面持ちだったが、にこやかな笑顔で西川一誠福井県知事をお迎えした。以下に様子をご報告いたします。(敬称略)

**横澤:** はじめまして、横澤夏子です。(アテンダントの衣装で)

**知事:** 映画の格好でお見えになられたんですね。

**監督:** 児玉宜久です。

**知事:** 福井を全面的に撮影していただきありがとうございます。福井はどうでしたか？

**横澤:** すごい素敵なところで、田んぼの風景がすごい広がって。私の地元にも似ているような感じで、おいしい食べ物がたくさんあって、撮影が観光をしているような感じでいろんなところにいけたので。

撮影のときも地元のエキストラの方たちがあたたかくて、親戚が増えたな、と思いました。

**知事**：食事とがグルメではどんなものを食べましたか？

**横澤**：お蕎麦も撮影場所になったところ（八助）でもいただきました。それから地元のボランティアの方たちがご飯を全部作っていただいて。朝昼夜と。すごく美味しかったです。お酒もいただきました。しっかりいただきました（笑）

**知事**：撮影は勝山市を拠点にされていたんですか？  
映画を作られるのは大変なんですか？

**児玉監督**：そうですね。作るのはもちろん大変なんですけど、それを全国・世界に向けて発信するということですね。見てもらってなんぼなので、そのための努力もこれからはなくてはならないんです。作って終わりではなくてこれからがまた第二弾の始まりなんです。

**知事**：児玉監督は現代劇を作るのが多いのですか？

**監督**：はい、僕は現代物ですね。普段は2時間ドラマを多く仕事でやっています。今回はさほど殺人事件がないものですから（会場爆笑）割と自分が作りたいようにできたかな、と。  
東尋坊はドローンを使って撮影しました。

**GAGA 辻**：今日解禁になりましたが、東京国際映画祭の特別招待作品に選ばれて、横澤さんと監督にはレッドカーペットをあるいてもらうことになりました。

**監督**：まだまだこれから資金面も潤沢ではありませんので、福井県のほうからもご協力いただけるということで、どうぞよろしくお願いいたします。この映画に松原智恵子さんがでていらっしゃるんです。

**知事**：松原智恵子といえば僕らぐらいのジェネレーションやなあ（笑）

**知事**：役作りは大変でしたか？

**横澤**：わたし、だいたい嫌味っらしい女ばかりをネタでやっているの、その嫌味っらしさを抜くのは大変でした（笑）。自然にやってください、といわれるのが一番大変だったかもしれないです。なかなか真面目なお芝居をしたことがなかったので、良い勉強になりました。

**監督**：シナリオを作っている段階でこの（いづみの）役を横澤さんやってもらったらどうだろうという（案）が出ていて、それ以降ずっと（脚本）が傾いていき、ほぼアテ書きのように仕上がっていきまして。そういった意味でもとてもやりやすかったです。普段見えない横澤さんの顔が見られるようなお芝居を作っていました。

**知事**：監督さんって大変なんですか？

**監督**：厳しく言いますよ！ただ温厚に言います（笑）

**横澤**：すごい優しいんですよ。プリン・ア・ラ・モードまで作ってくれたんです（笑）夜ご飯のデザートで。

**監督**：疲れているスタッフと俳優さんたちにたまには甘い物なんかどうかな、と思って（作りました）

**<横澤さんから知事への記念品の贈呈>：横澤さんのサイン入り映画のシーンパネル**

**<知事から横澤さんと監督へ記念品の贈呈>：越前漆器の飯碗（赤と黒）**

**知事**：実用品ですから。これで美味しいご飯を食べてください。

**横澤**：お腹いっぱい食べます。越前米を食べます！監督と夫婦茶碗（笑）